

第 16 営繕・施設改修

公共建築物の新築・増築

県が管理する庁舎や学校、研究施設などの公共建築物に係る新築、増改築工事等を行っています。建築物の整備にあたっては、安全・安心で親しみの持てる施設整備を図ることはもとより、環境負荷への低減、ユニバーサルデザインの導入、長寿命化に積極的に取り組んでいます。

設計段階から中長期的な観点に立ち、より少ないライフサイクルコストで最大限の機能を発揮し、施策の目的を効率的に果たすことができるよう配慮すると共に、品質確保を図ることで良質な県有施設の整備を進めております。

平成 27 年度には、県立大原高等学校実習棟、県立東葛飾高等学校中学生棟等が完成しました。



大原高等学校 実習棟



東葛飾高等学校 中学生棟

既存公共建築物の改修

県が保有する建築物には築後 30 年以上を経過したものが多く、経年による老朽化が進んでいます。これらの建築物を有効・安全に使用し続けていくために、傷んだ部分の補修や改良をする『改修工事』、地震による被害を軽減するための『耐震改修工事』などを行っています。

また、近年、『誰にでもやさしい建築物』が求められていることから、環境に配慮した設計・工事の実施をはじめ、ユニバーサルデザインの導入、新たな行政ニーズに対応した既存施設の用途変更等によるリニューアル活用、長寿命化及びライフサイクルコストの削減等について積極的に取り組んでいます。

平成 27 年度は、袖ヶ浦福祉センター養育園等の改修工事、県立館山総合高等学校工業棟等の耐震改修工事を実施しました。



袖ヶ浦福祉センター養育園（内部改修）



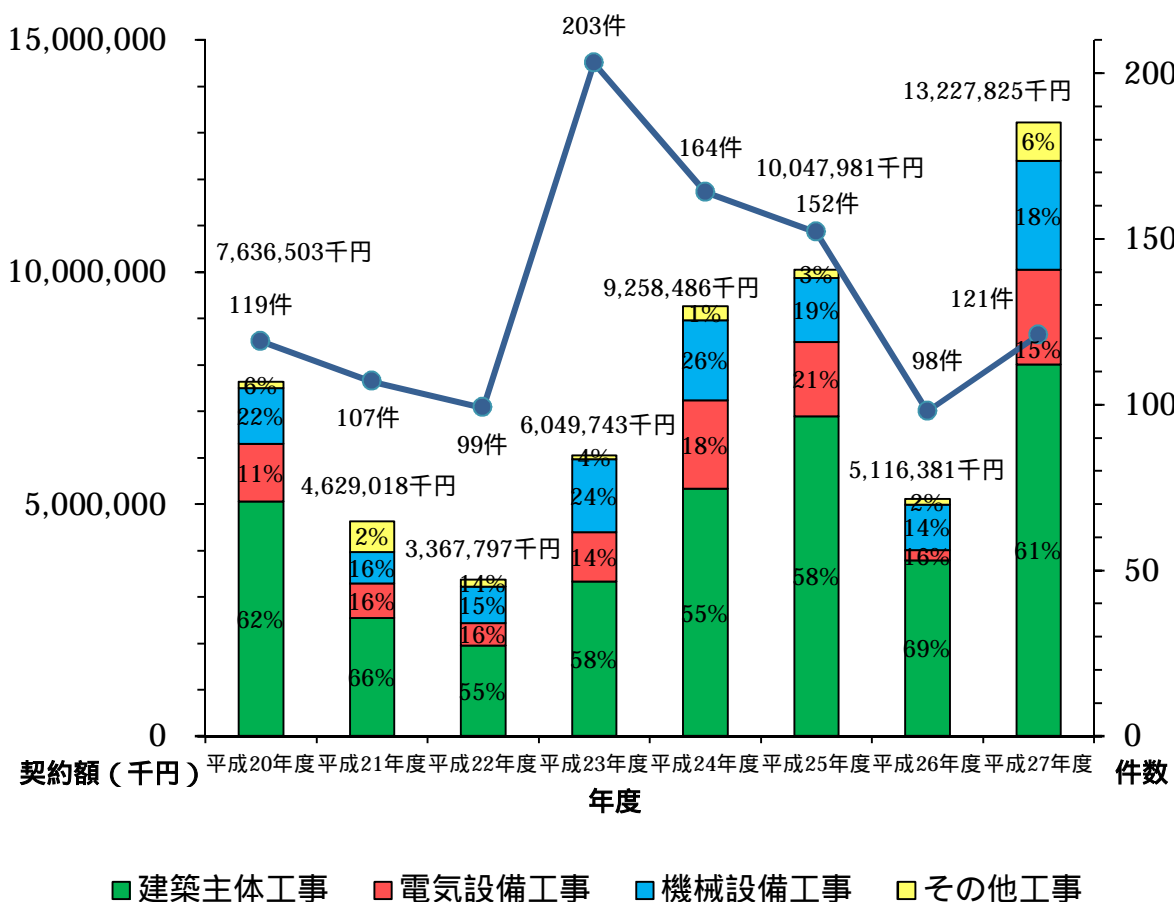
館山総合高等学校校舎工業棟（耐震改修）

営繕工事の実績

営繕工事件数及び工事費の推移

(金額単位：千円)

年度	総計				建築主体工事		電気設備工事		機械設備工事		その他工事	
	件数	対前年度比	金額	対前年度比	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
20	119	131%	7,636,503	239%	37	5,057,519	31	1,234,634	42	1,207,709	9	136,641
21	107	90%	4,629,018	61%	44	2,545,334	20	743,196	35	685,238	8	655,250
22	99	93%	3,367,797	73%	40	1,952,954	20	476,625	35	797,758	4	140,460
23	203	205%	6,049,743	180%	96	3,327,352	50	1,065,668	48	1,574,917	9	81,806
24	164	81%	9,258,486	153%	69	5,335,274	44	1,898,256	42	1,733,926	9	291,030
25	152	93%	10,047,981	109%	70	6,892,715	42	1,605,976	35	1,337,766	5	171,524
26	98	64%	5,116,381	51%	46	3,790,408	15	213,752	33	989,522	4	122,699
27	121	123%	13,227,825	259%	48	8,015,714	30	2,033,944	34	2,346,535	9	831,632



(注) 2 か年以上にまたがる大規模な工事の場合は、発注年度(当初年度)に一括して計上しています。